

『中小企業が元気なまち』『人の集まるまち』

鯖江商工会議所会報

創立五十周年記念事業

業界の将来展望と鯖江市の活性化懇談会

―業界の若手が将来を語る―

当所創立五十周年記念事業として九月一日正午から午後三時二十分まで役員会室にて、テーマを『業界の将来展望と鯖江市の活性化について』と題し、懇談会を開催しました。

まず野村会頭が「現在の厳しい経済状況に負けては発展がない。若手で夢を持って取り組んでいる人もあり今後、このようなやる気と夢のある企業を支援していきたい。次代を担う業界のトップとして、業界の課題や展望などを語ってほしい」と挨拶。続いて牧野鯖江市長が「まちづくりについて、現在まで、第四次総合計画で取り組んできたが、新たな第五次総合計画を前倒しで策定したい。これまで、創造会議の中で意見等聞いている。今後も市民の目線で協働と参画の中で取り組んでいきたい。本日の意見を知恵と工夫で政策に結び付けたい」と挨拶。懇談に入りまし



あいさつする牧野市長

各業界の意見は次のとおり。

【商業部会】

業界の今は四つの厳しさ《不景気・長雨・競合店・インフルエンザ》。この状況の中で、変化への迅速対応と安心・安全・近い利便性を生かした商品提供が必要。行政には、人口が増加する魅力あるまちづくりを期待。老々介護が多くなる福祉の課題を危惧。薬物乱用の問題や医薬品の使い方講習を提案したい。鯖江の活性化は、既存の祭りを活かし、地元での買い物などに繋がるとよい。商工会議所には、業種などの絞った情報提供、セミナーなど参加しやすい時間帯の工夫。行政には、退職者の人材活用と、中心市街地以外の活性化施策の充実を求める。

【繊維業部会】

業界は体力の消耗戦。今後はライバルとも協力・連携し、販路を内需から外需へ拡大したい。最終製品づくりをイメージして自助努力で頑張りたい。行政には、JR鯖江駅の充実、鯖江ブランド広報活動の継続、サンドーム福井へのお客をビジネスチャンスに繋げてほしい。

業界の課題は、独自技術を活かした製品開発をどうするか。また、海外取引への対応も考えなくてはならない。鯖江市活性化については、就職先として繊維を選んでもらえるよう意識しているが、市内での雇用創出を要望する。祭りやイベントに

よる活性化も必要だが、心の交流ができる祭りやイベントであってほしい。



【漆器業部会】

業界の課題は、伝統工芸職人が数年後にいなくなり、物が作れない産地になる事を危惧。漆芸学部がある学校の実習生を夏休みに受け入れ、何人が就職に繋げたい。行政への提案は、地元の既存技術で電気自動車を作って、駅でレンタルしてほしい。

【眼鏡業部会】

未だ中国の低価格商品に押されている。高品質製品の追求も必要だが、技術を活かした異業種への進出も考える。商工会議所創立五十周年記念事業で、東京ギフトショーへの参加の機会を得た。業界青年部で挑戦したい。行政には、支援制度について、技術面でのハードルを低くして活用しやすくしてほしい。

【交通業部会】

タクシー業界は地元の元気に直接左右される。より集客性のあるイベントをしてほしい。ただし、渋滞するとお客さんを待たせる事になるのでアクセス道路を検討してほしい。観光バス業界は規制緩和に伴うチャンスをどうとらえるかにかかっている。地域の活性化は、交流人口増加が一番大事。西山公園に大型バス駐車場があれば、来場者はまだ伸びる。

【理財業部会】

金融機関は産業あつての商売。産学官連携の教育として、技術の深堀に金融機能を追加し、起業に繋がるとよい。鯖江ブランド大使を創設しPR広報など、とにかく鯖江を知ってもらうことが必要である。

【建設業部会】

不況の中、変化に対応し創意工夫の中で解決していくしかない。行政にはデザインや企画等の人材を地域で育ててほしい。SSiDの復活を望む。特許取得の支援充実もお願いしたい。地域を支える「鯖江で買う教育」など、地域への道徳観的なことも大事なので進めてほしい。不動産業は、農地転用や固定資産関係など行政とのつながりが深いので、今以上に情報共有してほしい。

【料飲業部会】

課題は、高速道路千円化・無料化にむけて市外県外からの来街者がいかに増やすか。活性化案として、高年大学を街なかで開催、子育て支援センターを街なかに移転、優秀なスポーツ指導者を集めてスポーツ振興に努めてほしい。

【サービス業部会】

指定管理者制度の更なる推進。業界課題としては、付加価値を付けたサービス提供や企画提案等をどうするか。活性化案は、つつじまつりで間部公をたたえる神事を行い、歴史公園百選のPRに繋げてほしい。

【青年部】

提案として、異業種転換時の支援強化、融資等の継続的支援、人口増加に繋がる企業誘致、大学の創立。肉体的にも精神的にも健康であることが一番。働いている人のための健康増進策を積極的に展開してほしい。

【女性会】

参加者
商業部会：永杉宏之・藤本外美・橋本善幸／繊維業部会：吉田晃・揚原邦弘／漆器業部会：関坂芳雄／眼鏡業部会：福岡幹人／交通業部会：相馬宏・上田正樹／理財業部会：牧野浩一／建設業部会：石本浩・山本正浩／料飲業部会：近藤敬一／サービス業部会：川上広志・藤田順一／青年部：内田宏治／女性会：内田陽子
牧野百男 鯖江市 市長／千秋富秀 同 政策経営部長／竹内秀博 同 産業環境部長／田中憲男 同 都市整備部長／佐々木繁樹 同 政策推進課長／中村修一 同 商工政策課長／野村一榮 同 会頭／山本一男・野路洋美・兜信夫 同 副会頭／加藤修 専務理事
「敬称略・順不同」

